
2024 年度（令和 6 年度）

事業報告書

報告期間：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人ひろしま N P O センター

I 組織運営

1. 組織体制

(1) 会 員

正 会 員：31（個人・NPO：31、行政・企業：0）

協力会員：41（個人・NPO：40、行政・企業：1）

※2025 年 3 月末時点

(2) 事務局・職員

【職員数】

<2024 年 4 月時点>

36 名（職員：5 名、契約職員：13 名、パートタイム職員：18 名）

<2025 年 3 月末時点>

29 名（職員：5 名、契約職員：14 名、パートタイム職員：10 名）

【事務局運営スタッフ】

NO	氏 名	勤務形態	役 職	役 割
1	松原 裕樹	職員	専務理事、事務局長	事務局統括責任者、業務運営責任者
2	山本 祐二	職員	常務理事、総務部長	総務部門責任者、業務運営責任者
3	松村 渉	職員	事業部長、プロジェクトマネージャー	事業部門責任者、業務運営責任者
4	増田 勇希	職員	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
5	香川 恭子	職員	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
6	杉野 紗央里	契約職員		総務スタッフ、子育て支援部門兼務

【業務運営スタッフ】

NO	事業名（事業所）	所在地	スタッフ数
1	JICA 事業部門	広島市	契約職員：4 名
2	子育て支援事業部門	広島市	契約職員：1 名、パートタイム職員：20 名
3	EPO ちゅうごく事業部門	広島市	契約職員：3 名

4	福山市まちサポ事業部門	福山市	契約職員：6名
---	-------------	-----	---------

(3) 役員

【役員数】

14名（理事：12名、監事：2名）

【役員名簿】

役 職	氏 名	所 属	区 分
代表理事	中村 隆行	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
副代表理事	金谷 信子	広島市立大学国際学部 教授	学識経験者
	山本 一隆	社会福祉法人中国新聞社会事業団 理事長	有識者
専務理事	松原 裕樹	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
常務理事	山本 祐二	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
理事	安藤 志保	サステナブルみはら 代表	NPO
	香川 恭子	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
	児玉 宏	特定非営利活動法人コーチズ 理事	NPO
	鈴木 英士	Olu Olu cafe	
	平尾 順平	特定非営利活動法人ひろしまジン大学 代表理事	NPO
	遠山 勇希	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
監事	松村 渉	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
	久笠 信雄	弁護士	
	赤羽 克秀	公認会計士・税理士	

(4) 相談役

【相談役数・名簿】

2名／安藤周治、三好久美子

(5) 顧問

- ・顧問社労士：岡崎晃（岡崎社会保険労務士事務所 社会保険労務士）
- ・顧問税理士：税理士法人ゆびすい

2. 通常総会の開催

(1) 第26回通常総会

日 時	令和 6 年 6 月 15 日（土）10:00～12:00
場 所	ワーキングスペース AxEL（広島市中区大手町 1-1-20 相生橋ビル 7 階）、オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催
出 席 者	正会員
議 題	1) 2023 年度事業報告及び決算報告（案） 2) 2024 年度事業計画及び活動予算（案） 3) 定款の変更 4) 役員の選任

3. 理事会の開催

（1）第 1 回理事会

日 時	令和 6 年 5 月 29 日（水）16:00～18:00
場 所	ひろしま NPO センター事務所 オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催
議 題	1) 2023 年度事業報告及び決算報告 2) 2024 年度事業計画案及び活動予算案 3) 子育て支援部門の進捗報告及び事業計画 4) 組織運営 5) その他

（2）第 2 回理事会

日 時	令和 6 年 9 月 17 日（火）15:00～17:00
場 所	ひろしま NPO センター事務所 オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催
議 題	1) 相談役の選任 2) 2024 年度事業計画及び活動予算の進捗報告 3) 組織運営 4) 子育て支援部門の進捗報告及び事業計画 5) ビジョン・中長期計画 6) その他

（3）第 3 回理事会

日 時	令和 6 年 12 月 26 日（木）15:00～17:00
場 所	ひろしま NPO センター事務所 オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催
議 題	1）組織運営 2）2024 年度事業計画の進捗報告及び決算見込み 3）子育て支援部門の進捗報告及び事業計画 4）ビジョン・中長期計画の目標策定 5）その他

（４）第４回理事会

日 時	令和 7 年 3 月 25 日（火）15:00～17:00
場 所	ひろしま NPO センター事務所 オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催
議 題	1）組織運営 2）2024 年度事業計画の進捗報告及び決算見込み 3）子育て支援部門の進捗報告及び事業計画 4）ビジョン・中長期計画に基づく事業検討 5）その他

4. その他

（１）Hiroshima Future Party 2024

【目 的】ひろしま NPO センター設立記念日に正会員・理事・職員・スタッフが集い、取組事例の成果や課題及び最新情報の共有、意見交流等を行うことを通して広島や組織の未来を語り合い中期ビジョンに活かしていく事を目的とする。

【目 標】○組織を構成するみんながお互いを知りあう
○情報格差がなくなる（情報共有）
○明日からのモチベーションが高まる（一員としての誇りを持てるように）

【日 時】2024 年 11 月 1 日（金）11:00～13:00

【場 所】広島アンデルセン（広島市中区本通り 7-1）

【参 加 者】16 名／正会員、役員（理事・監事）、職員

【担 当】増田、松村

【内 容】挨拶、事業紹介（全体、EPO、まちサポ、子育て、JICA）、食事（交流タイム）

【備 考】参加できなかった職員にお土産を配布



Ⅱ 事業運営

1. 重点事業の実施内容

(1) G7 広島サミット後継プロジェクト



2023 年に実施した G7 広島サミットに係る G7 市民社会コアリション 2023 やみんなの市民サミット 2023 で得た経験やネットワークを活用すると共に、グローバルな活動を推進するために、G7 イタリアサミットに向けた C7 の政策提言やコアリションの後継活動、市民サミットの継続展開を図った。

①G7 市民社会コアリション 2023 の後継枠組み

- ・ G7 市民社会コアリション 2023 の共同事務局を務めていた特定非営利活動法人国際協力 NGO センター (JANIC) 及び一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワークと隔月でミーティングを行い、G7 に対する政策提言の積み上げや関係団体の定期的な情報交流、新しい担い手の巻き込み等を検討した。

②G7 サミットに日本の市民社会の声を届けるプロジェクト

- ・ 昨年の G7 広島サミットを継承して、2024 年 6 月にイタリアで開催される G7 エウマウサミットに政策提言するため、G7 市民社会コアリション 2023 有志メンバーと共に「G7 サミットに日本の市民社会の声を届けるプロジェクト（以下「声プロ」という。）」を立ち上げた。
- ・ 日本の市民社会から日本の CSO（市民社会組織）の代表者がイタリア C7 サミット 2024 に参加するため、congrant の Web サイトを活用してクラウドファンディングを 5～6 月に実施し、目標金額（80 万円）を超える 81 万円（寄付者 91 名）を達成した。
<https://congrant.com/project/hnpoc/11720>
- ・ 5 月 14 日（火）・15 日（水）の C7 イタリア 2024 サミットに、声プロから有坂美紀氏（G7/Earth day オープンフォーラム北海道 代表／RCE 北海道道央圏協議会 事務局長／北海道 NGO ネットワーク協議会 事務局長）及び高橋悠太氏（一般社団法人かたわら 代表理事／カクワカ広島 共同代表／元 G7 市民社会コアリション 2023 会員）の参加を支援した。
- ・ 6 月 14 日（金）に「G7 イタリアミニ情報交換会」をオンライン開催し、グリーンピース小池氏が IMC（国際メディアセンター）から中継を行った。
- ・ 6 月 20 日（木）に「イタリア C7 サミット参加報告会」をオンライン開催した。
- ・ 6 月 21 日（金）に NGO・外務省定期協議会「全体会議」で、渡航した JANIC 堀内氏、有坂氏、高橋氏がイタリア C7 サミットの参加報告を行った。
- ・ 9 月 7 日（土）に広島で開催する「みんなの市民サミット 2024」にて、第 2 弾の報告会を行った。

- ・2月8日（土）・9日（日）に東京で開催された「核兵器をなくす国際市民フォーラム（主催：核兵器をなくす日本キャンペーン）の分科会にて、第3弾の報告会「核兵器廃絶とSDGs 地域の実践から考える」を実施した。
- ・3月1日（土）に北海道で開催された国際女性デーに関するイベントにて、第4弾の報告会「私たちの足元の問題を世界に伝えるにはー C7 報告をととして」を実施した。
- ・3月18日（火）にオンライン開催で「C7 カナダ情報交換会～混迷を極める世界情勢、市民社会の一手は？～」を実施した。

ひろしまNPOセンター

募集終了

G7サミットに日本の市民社会の声を届けるプロジェクト

支援総額 **810,000円**

目標金額 800,000円
ネクストゴール 1,000,000円

101%

サポーター 91人

終了しました

2024年06月30日 23時59分まで

募集終了

特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター
お問い合わせ

2024年5月14日（火）・15日（水）にイタリアで開催される「C7サミット2024」に、日本のCSO（市民社会組織）の代表者が参画することで、市民の声を世界に届けてG7への政策提言を後押しすると共に、多くのNGO/NPOの参加や関心を生み出し、グローバルな活動を通じた社会課題の解決や日本の市民社会が政策提言する力を高めていくことを目指します！

※C7（Civil7：市民社会）はG7の公式エンゲージメントグループ（国際社会において各国政府から独立した立場のステークホルダーにより形成される団体）の一つとして、G7との対話、政策提言、共同声明等を行っています。

クラウドファンディング Web サイト（congrant）

核廃絶へ世界と連帯

③ つながる市民

政策提言や議論の場 今年も

「どんな世界で生きていくのか」を問う市民社会の動き

「核兵器をなくす国際市民フォーラム」の分科会「核兵器廃絶とSDGs 地域の実践から考える」が開催された。市民社会の代表者が参加し、G7への政策提言を後押しする。また、市民社会の力を高めるための活動が行われる。

中国新聞（2024年5月21日）

YUTA TAKAHASHI ERIKO NITTA AOI HORUCHI

HIROKI MATSUBARA TOMOKO WATANABE

MIKI ARISAKA SATOSHI KINOSHITA KUNIHIRO SHIMADA

分科会 / 核兵器廃絶とSDGs 地域の実践から考える

2025.2.9 SUN 9:30～10:45

会場 聖心女子大学キャンパス（東京都渋谷区広尾4丁目3-1）

定員 100名 早オンライン配信・通訳あり

参加費 現地参加：有料、14歳以下：海外在住者：オンライン参加：無料

※詳細は特設Webサイトをご覧ください。

核兵器をなくす国際市民フォーラム分科会
（2025年2月9日）

C7カナダ情報交換会

混迷を極める世界情勢 市民社会の一手は？

CIVIL7 CANADA 2025

2025年3月18日（火）10:00-12:00 オンライン開催

C7 カナダ情報交換会（2025年3月18日）

③みんなの市民サミット 2024

-
- 【行事名】みんなの市民サミット 2024～核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会を目指し、市民社会から「〇〇×まちづくり＝平和」を語り合う～
- 【日時】2024年9月7日（土）10:30～16:00
- 【場所】広島大学東千田キャンパス 地域連携フロア SENDA LAB（広島市中区東千田町）
- 【主催等】特定非営利活動法人ひろしま NPO センター、特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima、特定非営利活動法人ひろしまジン大学、EPO ちゅうごく・中国地方 ESD センター、G7 サミットに日本の市民社会の声を届けるプロジェクト
- 【協力】一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク、特定非営利活動法人国際協力 NGO センター（JANIC）、北海道 NGO ネットワーク協議会、一般社団法人かたわら、一般社団法人ローカル SDGs ネットワーク
- 【講師等】<セッション1：イタリア C7 サミット 2024 活動報告>
堀内葵／特定非営利活動法人国際協力 NGO センター（JANIC）シニアアドボカシー
オフィサー
有坂美紀／G7/Earth day オープンフォーラム北海道 代表、RCE 北海道道央圏協議
会 事務局長、北海道 NGO ネットワーク協議会 事務局長
高橋悠太／カクワカ広島 共同代表、一般社団法人かたわら 代表理事
新田英理子／一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク 理事・事務局長
木下聡／一般社団法人ローカル SDGs ネットワーク 代表理事
<セッション2：ペースノートスピーチ>
田上富久／前 長崎市長
<セッション3：参加型パネルディスカッション>
[コーディネーター]
平尾順平／特定非営利活動法人ひろしまジン大学 代表理事
[パネリスト]
田上富久／前 長崎市長
渡部朋子／特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima 理事長
宮崎園子／フリーランス記者
谷口千春／ミナガルテン 代表、株式会社ミナサカ 代表取締役、株式会社 DoTS
代表取締役社長
今田順／カミハチキテル 事務局、ブックキュレーター
小野香澄／特定非営利活動法人呉サポートセンターくれシェンド 理事
- 【参加者数】計 86 名（内訳 NPO/NGO、中間支援組織、大学生、事業者、自治体、宗教団体、マスコミ）
- 【概要】セッション1ではイタリア C7 サミット 2024 活動報告として、G7 サミットに日本の市民社会の声を届けるプロジェクトを通じた C7 イタリアの活動や C7 政策提言書の紹介、C7 サミット 2024 の現地での取組を報告した。次いで、セッション2は田上氏が基調講演し、長崎市政を担った経験等から、平和なまちのあり方や問題が起きる構造、まちづ

くり上手なまちとしての協働について話題提供した。セッション3は平尾氏が参加型パ
ネルディスカッションをコーディネートし、現在の広島のまちづくりや「〇〇×まちづ
くり=平和」のテーマについて、講師と参加者がともに意見交流した。

みんなの市民サミット2024

核のない、誰ひとり取り残さない
持続可能な社会を目指して、
市民社会から
「〇〇×まちづくり=平和」
を語り合う

参加無料
2024.9.7(土)
10:30~16:00
定員:100名

〆G7広島サミットから1年/
近年、南朝鮮や朝鮮連帯などにより、大
きな変化と注目が集まっている広島。
平和を築き立てるまちから、平和的である
まちを目指すために、広島のまちづくりを
市民市民の協働から実現します。
皆さまのご参加をお待ちしています！

会場
広島大学東千田キャンパス
地域連携フロア SENDA LAB
(広島市〆区東千田 1-1-89)

セッション1 10:40~
イタリアC7サミット2024活動報告

セッション2 11:00~
パースノートスピーチ

セッション3 14:30~
参加型パネルディスカッション

田上 富久 市長
平尾 康平 市長補佐
渡部 朋子 市長補佐
宮崎 国子 市長補佐
新田 英理子 市長補佐
水戸 聡 市長補佐
谷口 千香 市長補佐
今田 結 市長補佐
小野 香織 市長補佐

お申込み
お問合せ

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター(担当:松原)
広島市中区紙屋町1丁目6-1 紙屋町ガレリア303号室
TEL:082-258-1348 FAX:082-258-1349

広報チラシ

**平和のまちづくり
市民目線で討議**

中区で80人がサミット

平和をキーワードにしたまちづくりを考える
みんなの市民サミットが7日、広島市中区
の広島大学東千田キャンパスで開催され、市
民市民の協働から、平和的であるまちを
目指すために、広島のまちづくりを市民
市民の協働から実現します。皆さまのご
参加をお待ちしています！

パネルディスカッションは、まち
づくりの代表者、市議員、市民、NPO
代表者が、市民目線で平和のまちづく
りについて話し合い、市民が平和の
まちづくりを推進する役割を果たすこ
とを目的としたものです。

パネルディスカッションは、まち
づくりの代表者、市議員、市民、NPO
代表者が、市民目線で平和のまちづく
りについて話し合い、市民が平和の
まちづくりを推進する役割を果たすこ
とを目的としたものです。

「信頼、平和の文化広げて」

みんなの市民サミット 前長崎市長講演

ちひろのま
ちひろのま
ちひろのま

富久さんが市長の経験
をもとに講演した。
田上さんは長崎市長
から2007年に市長に
就任し、4期16年
務めた。在任中に訪
れたカザフスタン、旧
ソ連加盟国、中東地
域など、平和の文化を
広げる活動に取り組
み、長崎市長として
平和の文化を広げる
活動に取り組んだ。

「平和の文化を
広げる活動は、長
崎市長として取り組
んだ。平和の文化を
広げる活動は、長
崎市長として取り組
んだ。平和の文化を
広げる活動は、長
崎市長として取り組
んだ。」

中国新聞 (2024 年 9 月 8 日)

毎日新聞 (2024 年 9 月 8 日)

(2) ひろしま NPO センターのガバナンス強化



近年継続して取り組んできた組織基盤強化を基に、認定 NPO 法人を目指すための会員募集・管理、職員の働きやすさや労務改善、NPO らしさを活かしたユニークな待遇の検討等、組織のガバナンス強化を推進した。

①理事会

- ・理事会のガバナンス機能を高めるため、相談役の設置及び選任、役員の改選、役員履歴書（利益相反防止のための確認書）の作成及び確認、プロマネ業務を確認共有するためのミーティングの実施（7月：松村、8月：香川、9月：松原、10月：山本、11月：増田）、新任理事との連携、次期の役員候補者の検討等を行った。

②コンプライアンス委員会

- ・今年度は担当理事の3名（山本祐二、松村渉、香川恭子）及び外部有識者の毛利葉（公益財団法人とっとり県民活動活性化センター 理事長）が委員を就任し運営した。
- ・役員を対象として、岡崎顧問社労士を講師に2月17日（月）18:00～20:00に役員向けハラスメント研修をハイブリッド開催し、理事7名が参加した。

③会員管理

- ・認定 NPO 法人を目指すための会員募集や管理方法の整理を行い、2023 及び 2024 年度の2年間で3,000 円以上の寄付者が100 名以上いる絶対値を確認できた。今後は、特に賛助会員100 名を獲得・キープを目指す。

④職員の働きやすさや労務改善

- ・岡崎顧問社労士と毎月1回の定例会を実施し、日常的な労務の課題解決や規定類の整備等に取り組んだ。出席メンバーは、松原・山本・長野・杉野を基本として、必要に応じてプロマネも出席した。
- ・「育児・介護休業等に関する規則」の運用を開始し、事務局長の松原が4月24日（水）～5月12日（日）に産後パパ育休を取得した。
- ・育児・介護休業法の改正により、2025 年4月から制度が変わるため、「育児・介護休業等に関する規則」を改定した。
- ・有給休暇の運用について、職員毎に付与日が異なっており、本人及び管理側の運用に課題を抱えていたため、2025 年度から付与日の基準を揃えて管理する方法を検討した。

- ・職員の労務管理について、個人情報を整理してマネジメントするための一覧表を作成し、2025 年度から運用する。
- ・事務局スタッフの給与体系について、基本給を「経験給」「職能給」「職務給」から積算する方法を続けるのがよいか、賃金規定の仕組みや給与計算の方法を岡崎社労士と協議した結果、ひろしま NPO センターの職員の働き方や事業活動の特性から、賃金規定の仕組み（基本給に経験給・職能給・職務給）は含めたままがよいという見解となった。また、近年はテレワーク等の働き方もあるため、通信手当を検討してみてもどうかと提案を受けた。
- ・退職金制度について検討を行い、退職金規定を策定するとともに、2025 年 4 月から事務局職員が中退共(中小企業退職金共済制度／独立行政法人勤労者退職金共済機構)加入する手続きを行った。
- ・昨年度から継続して 3 月 14 日（金）～24 日（月）に「働きやすい職場アンケート」を全職員に向けて実施した。
- ・賞与の規定や積算方法について、事務局 MTG・プロマネ MTG・岡崎社労士との定例会・理事会にて検討し、暫定的な方法を策定して 3 月末に支給を行った。

⑤NPO らしさを活かしたユニークな待遇

- ・「Hiroshima Future Party 2024」にて、参加できなかった職員に、まちサポスタッフがセレクトした備後圏域の特産品のお土産を配布した。

⑥その他

- ・ステークホルダーのデータベース化に向けた名刺管理テストを 11 月に試行した。

（3）ビジョン・中長期計画の具現化

(2) ビジョン・中長期計画			
③ 中長期計画			
<p>① 中長期計画の位置づけ</p> <p>② 中長期計画の目的・目標</p> <p>④ 中長期計画の実現に向けた課題・課題の解決策</p>	<p>⑤ 中長期計画の実現に向けた課題・課題の解決策</p> <p>⑥ 中長期計画の実現に向けた課題・課題の解決策</p> <p>⑦ 中長期計画の実現に向けた課題・課題の解決策</p>	<p>⑧ 中長期計画の実現に向けた課題・課題の解決策</p> <p>⑨ 中長期計画の実現に向けた課題・課題の解決策</p> <p>⑩ 中長期計画の実現に向けた課題・課題の解決策</p>	<p>⑪ 中長期計画の実現に向けた課題・課題の解決策</p> <p>⑫ 中長期計画の実現に向けた課題・課題の解決策</p> <p>⑬ 中長期計画の実現に向けた課題・課題の解決策</p>

ビジョン・中長期計画（2021～2030）の初期 3 年間の成果や課題をふまえて、ビジョンを実現するための具体的な目標を策定すると共に、目標達成のための自主事業を検討し、実行に向けた運営体制を構築した。

三役 MTG・プロマネ MTG・理事会を通じて、ビジョン・中長期計画（2021～2030）の初期 3 年間の成果や課題の整理を行うとともに、ビジョン・中長期計画を実現するための具体的な目標策定、目標達成のための自主事業や実行に向けた運営体制の検討を行った。

【ビジョン・中長期計画の目標策定】

ビジョン		事業の方針・具体策			
		社会的インパクトを創出する	市民社会連帯を強化する	組織力・担い手を育成する	ステークホルダーとのコミュニケーションを促進する
		# 特定テーマの問題解決や価値創造 # 災害・新型コロナからの復興と次なる備え # 環境・社会・経済が好循環する協働と仕組みづくり	# 市民セクターのエンパワメントを高める # 立場・地域・分野・世代をつなげるコーディネーション # 中間支援機能の拡充	# NPOの組織基盤やガバナンスの強化 # 実践者や支援者の育成 # ユースの活躍創出	# ステークホルダーとの対話や関係構築 # 市民セクターの存在意義や成果に対する理解促進 # 持続可能な社会づくりのための課題共有や目標形成
20年後 ＜社会が変わる＞ ゆたかな市民社会	* 市民一人ひとりの想いや居場所が尊重され、多世代がいきいきとチャレンジして活躍している。 * 失敗や困難はお互いに支え合い、社会の不都合には自分事として向き合って行動する。 * そのような暮らしの文化とかけがえのない地球環境を次世代にギフトできる。	＜2021～2023に達成できたトピックス＞ ○福山市まちづくりサポートセンターの受託運営を通じて、県東部のNPO支援を拡充し、中間支援機能を担う人材を雇用・育成した。 ○スペシャルオリンピックス2022広島の大大会運営支援を通じて、障がい者の活躍促進やボランティアのエンパワメントを高めた。 ○子育て支援事業を通じて、担い手の雇用・育成、中国地方初の訪問型支援、自治体・企業との連携による子育て環境づくりの充実を図った。 ○コロナ禍における政策提言や支援活動を通じて、NPOへの政策・施策支援の創出、NPOの課題把握や相談対応、全国ネットワークを活用したNPO支援を行った。 ○G7広島サミットにおける市民社会の提言活動を通じて、国内外の市民社会と連携したアドボカシー、国内のNPOとNGOの連帯強化、県内のNPOの参画を促進した。 ○ひろしまNPOセンターの組織基盤強化を通じて、次の10年を見据えた組織のあり方や計画の立案、世代交代、新しい事務所拠点の整備、経理・労務の管理システム構築、ガバナンス向上を図った。			
10年後 ＜みんなが変わる＞ 次世代と世界に誇れるHIROSHIMAの市民社会づくり	* NPOが行政・企業等と力を合わせて平時・非常時ともに活躍している。 * NPOの想いや活動を次世代が理解し共感している。 * 広島らしい持続可能で平和的な市民社会づくりを世界に発信している。				
10年後 ＜自らが変わる＞ 広島で一番大きな行政・企業と同じ土壌に立つ	* 信頼される中間支援組織として市民社会連帯の舵取り役を担っている。 * NPOならではの社会的価値と市場規模の創出を支えている。 * 垣根をこえた様々な主体の参画を促し協働を生み出している。				

ビジョン		事業の方針・具体策			
		社会的インパクトを創出する	市民社会連帯を強化する	組織力・担い手を育成する	ステークホルダーとのコミュニケーションを促進する
		# 特定テーマの問題解決や価値創造 # 災害・新型コロナからの復興と次なる備え # 環境・社会・経済が好循環する協働と仕組みづくり	# 市民セクターのエンパワメントを高める # 立場・地域・分野・世代をつなげるコーディネーション # 中間支援機能の拡充	# NPOの組織基盤やガバナンスの強化 # 実践者や支援者の育成 # ユースの活躍創出	# ステークホルダーとの対話や関係構築 # 市民セクターの存在意義や成果に対する理解促進 # 持続可能な社会づくりのための課題共有や目標形成
20年後 ＜社会が変わる＞ ゆたかな市民社会	* 市民一人ひとりの想いや居場所が尊重され、多世代がいきいきとチャレンジして活躍している。 * 失敗や困難はお互いに支え合い、社会の不都合には自分事として向き合って行動する。 * そのような暮らしの文化とかけがえのない地球環境を次世代にギフトできる。	＜成果目標の考え方＞ 今後の社会や組織の状況に合わせて、成果目標や事業、評価方法を検討しながら実施し、下記トピックスの7～8割の達成を目指すものとする。 ＜2024～2030に達成したいトピックス＞ ○NPO・ボランティア・中間支援組織の認知度や存在感が高まるために、各分野での協働コーディネーションや課題解決プロジェクト、災害対応、立場や世代の垣根をこえた対話の場づくり、白書による発信などに取り組む。 ○市民社会の多様性（個人・グループ・任意団体・法人）や活動が広がり、社会・地域課題に対応できているために、担い手・NPO・地域の循環育成、NPOの組織基盤やガバナンスの強化、中核NPOや他セクターとの連携などに取り組む。 ○人口減少・流出、NPOの高齢化、人材・資金不足の問題に対して、オルタナティブを打ち出しているために、ユースの活躍支援、人材育成プログラムの開発・運営、ファンドレイジング、自主財源による資金配分、新しい価値観の提示などに取り組む。 ○NPOや各市町の現状、支援ニーズを把握できているために、調査・研究、好事例・人材情報の発信、23市町や県内中間支援組織との情報交流などに取り組む。 ○市民の声が政治に影響し、政策と草の根活動がよりよく繋がるために、政策提言・コミュニケーション、省庁や議員とのネットワーク形成、若手議員との学習機会、NPOから政治家の輩出、市民の政治参加などに取り組む。 ○ひろしまNPOセンターのミッション・ビジョン・活動・成果等を理解し支えてもらうために、会員数の増加、認定NPO法人の認定、アニュアルレポートによる発信などに取り組む。 ○ひろしまNPOセンターの自主事業・財源や人材を拡充するために、資金循環システムの構築、専門職員の雇用・育成などに取り組む。			
10年後 ＜みんなが変わる＞ 次世代と世界に誇れるHIROSHIMAの市民社会づくり	* NPOが行政・企業等と力を合わせて平時・非常時ともに活躍している。 * NPOの想いや活動を次世代が理解し共感している。 * 広島らしい持続可能で平和的な市民社会づくりを世界に発信している。				
10年後 ＜自らが変わる＞ 広島で一番大きな行政・企業と同じ土壌に立つ	* 信頼される中間支援組織として市民社会連帯の舵取り役を担っている。 * NPOならではの社会的価値と市場規模の創出を支えている。 * 垣根をこえた様々な主体の参画を促し協働を生み出している。				

2. 各種事業の実施内容

4つの事業方針に基づき、2024年度は、ステークホルダーとのコミュニケーションを促進する事業が6事業（うち継続：6）、組織力・担い手を育成する事業が14事業（うち継続：11、新規：3）、市民社会連帯を強化する事業が9事業（うち継続：8、新規：1）、社会的インパクトを創出する事業が7事業（うち継続：7）、計36事業（うち継続：32、新規：4）を実施した。

（1）ステークホルダーとのコミュニケーションを促進する事業

ステークホルダーとの対話や関係構築を推進し、市民セクターの存在意義や成果に対する理解促進、持続可能な社会づくりのための課題共有や目標形成を図った。

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
1-1	継続	情報収集・発信	NPO支援に関するイベント・助成金・施策等の情報収集や、ホームページ・Facebook・ニュースレター等を通じた発信。	年間	全国	自主財
1-2	継続	データベース構築・活用	各地の団体・取組・課題等の情報の記録・整理や、事業推進のためのデータ活用。	年間	全国	自主財
1-3	継続	相談対応業務	NPO・ボランティア・市民活動に関する各種相談の対応。	年間	全国	自主財
1-4	継続	委員等の派遣	各主体から依頼のある委員会・協議会等への委員派遣。	年間	全国	自主財、謝礼金
1-5	継続	ひろしま未来交流会	立場・分野・地域・世代をこえて広島を語り合う交流会の企画運営。	年間	県内	自主財
1-6	継続	ギャラリー事務所	新しい拠点を活用した情報交流の促進や新規事業の企画創出。	年間	県内	自主財

▶1-1 情報収集・発信

ホームページのリニューアルに伴い、Facebook ページを「メイン情報」「イベント情報」「助成金・寄付・ボランティア情報」の3ページに区分し、情報発信の整理と拡充を図った。



ホームページ

<https://npoc.or.jp/>



Facebook ページ（メイン情報）

<https://www.facebook.com/hiroshima.npoc>



Facebook ページ（セミナー・イベント情報）

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100090106119533>



Facebook ページ（助成金・寄付・ボランティア情報）

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100090147998492>

▶1-3 相談対応業務

NPO・ボランティア・市民活動等に関する各種相談に対応した。

OUTPUT 相談件数：**135** 件

OUTCOME NPO 等が抱える課題解決やステークホルダーとの連携創出

▶1-4 委員等の派遣

関係機関から依頼のあった委員会・協議会等に人材を派遣して参画し、取組への助言や協力、多様なステークホルダーとの対話交流を行った。

OUTPUT 派遣参画した機関：**66** 主体

OUTCOME 関係機関の取組への助言・協力や多様な主体との対話交流

<委員等派遣の内訳>

担当者	役割／名称／主催
中村 隆行	【理事】広島県自治労自治研究センター 【評議員】公益財団法人広島県男女共同参画財団 【評議員】社会福祉法人広島県社会福祉協議会 【評議員】社会福祉法人広島市社会福祉協議会 【評議員】社会福祉法人広島県共同募金会 【監事】社会福祉法人もみじ福祉会 【監事】東日本大震災広島避難者の会アスチカ 【監事】特定非営利活動法人子どもコミュニティネット広島 【評価委員】岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター 【幹事】中国地域コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス協議会 【委員】江田島市まちづくり助成金審査委員会／江田島市 【委員】呉市市民協働推進委員会／呉市 【委員】呉市住民自治組織あり方検討委員会／呉市 【委員】社会課題解決プロジェクト広域テーマ募金検討委員会／社会福祉法人広島県共同募金会 【委員】福祉サービスに対する苦情処理第三者委員／社会福祉法人広島県社会福祉協議会

	<p>【委員】社会福祉法人広島市社会福祉協議会ボランティア情報センター運営委員／社会福祉法人広島市社会福祉協議会</p> <p>【認定】地域活性化伝道師／内閣府</p> <p>【非常勤講師】広島経済大学、広島修道大学、比治山大学</p>
松原 裕樹	<p>【副議長】広島市災害ボランティア活動連絡調整会議／広島市（市民活動推進課）</p> <p>【委員長】3.11 東日本大震災を忘れない追悼の集い広島実行委員会</p> <p>【副委員長】広島県社会福祉協議会ボランティア活動・福祉教育推進委員会／社会福祉法人広島県社会福祉協議会</p> <p>【委員】広島県環境審議会／広島県（環境政策課）</p> <p>【委員】サテライトキャンパスひろしま運営会議／広島県公立大学法人財務課</p> <p>【選考委員】RCC ラブ・グリーン賞／株式会社中国放送</p> <p>【委員】三原市市民協働推進委員会／三原市（地域企画課）</p> <p>【委員】地域の実情を踏まえた体験活動事業に係る実行委員会／国立江田島青少年交流の家</p> <p>【委員】こくみん共済 coop 地域貢献助成審査委員会／こくみん共済 coop 中四国統括本部</p> <p>【委員】環境パートナーシップオフィス等運営委員会／地球環境パートナーシッププラザ・関東環境パートナーシップオフィス</p> <p>【委員】SDGs QUEST みらい甲子園広島県大会実行委員会／SDGs QUEST みらい甲子園事務局</p> <p>【幹事】へいわ創造機構ひろしま（HOPe）／広島県（平和推進プロジェクトチーム）</p> <p>【幹事団体】一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク地域ユニット</p> <p>【幹事団体】社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク（NN ネット）</p> <p>【審査員】福山市協働のまちづくり事業審査会委員／福山市（まちづくり推進課）</p> <p>【審査員】イオンチアーズクラブサミット中四国大会（審査会）／イオンリテール株式会社中四国カンパニー</p> <p>【監事】特定非営利活動法人岡山 NPO センター</p> <p>【認定】地域活性化伝道師／内閣府</p>
山本 祐二	<p>【委員】広島県医療費適正化計画検討委員会／広島県（医療介護保険課）</p>
松村 渉	<p>【委員】広島市における生活困窮者支援体制構築のためのプラットフォーム整備事業／広島市健康福祉局保護自立支援課</p>
増田 勇希	<p>【委員】広島県被災者生活サポートボラネット推進会議委員会／社会福祉法人広島県社会福祉協議会</p> <p>【委員】三原市被災者生活サポートボラネット推進会議委員会／社会福祉法人三原市社会福祉協議会</p> <p>【委員】世羅町被災者生活サポートボラネット推進会議委員会／社会福祉法人世羅町社会福祉協議会</p>

	【委員】広島市多文化共生市民会議指針改定専門部会/広島市
香川 恭子	【構成員】広島市ボランティア情報センター運営委員／社会福祉法人広島市社会福祉協議会 【構成員】広島市社会福祉協議会地域福祉総合企画委員／社会福祉法人広島市社会福祉協議会 【委員】移動等円滑化評価会議 中国分科会委員／中国運輸局 【委員】広島県国土利用計画審議会／広島県環境県民局
安藤 周治	【理事長】特定非営利活動法人ひろしまね 【理事】作木観光協会副会長 【理事】三次広域商工会 【理事】コミュニティ政策学会 【評議委員】公益財団法人マツダ財団 【委員】水源地域未来会議／国土交通省 【副会長】ローカル・マニフェスト中国運営委員／ローカル・マニフェスト推進ネットワーク中国 【委員】広島県河川整備基本方針等検討委員会／広島県（河川課） 【委員】さとやま未来円卓会議／広島県（中山間地域振興課） 【委員】ひろしま「ひと・夢」未来塾／広島県（中山間地域振興課） 【委員】へいわ創造機構ひろしま（HOPe）／広島県（平和推進プロジェクトチーム） 【評価委員】過疎地域等自立活性化交付金事業／総務省 【評価委員】集落ネットワーク圏形成事業／総務省 【幹事】ひろしま国際交流サミット／公益財団法人ひろしま国際センター 【委員】三原市空き家対策協議会／三原市 【委員】三江線沿線地域公共交通活性化協議会／同協議会 【就任】中山間地域コーディネーター&アドバイザー／山口県 【就任】地域力創造アドバイザー／総務省 【就任】青少年育成指導者／公益社団法人青少年育成広島県民会議 【認定】地域活性化伝道師／内閣府
中尾 圭	【委員】尾道市協働のまちづくり委員会／尾道市

<委員等派遣の活動事例>

【行 事 名】3.11 東日本大震災を忘れない追悼の集い広島実行委員会>

【経 緯】東日本大震災の支援活動に携わった県内の NPO やボランティアにより、翌年 2012 年から追悼の集いを開催し、今回で 14 回目の実施。2022 年度から松原が実行委員長を務めた。

【趣 旨】東日本大震災による約 2 万人の犠牲者を悼む追悼の集いを全ての広島県民に呼びかけ、平和公園から被災地に向けて哀悼の意を届け、永遠に震災の記憶を風化させない為に実

回	日程	参加者数	意見交換テーマ
第110回	2024年 4月12日（金） 19:00～21:00	13名	オープンハイマー／エシカルエキスポ／地球温暖化から沸騰化／観光列車／外国人にオススメのお店／なぜ広島から出ていくのか
第111回	5月17日（金） 19:00～21:00	10名	交流会の参加理由／緑化と農業／水俣のマイク問題／あなたからあなたへ／宿泊税／マイナンバーカード
第112回	6月14日（金） 19:00～21:00	15名	ローカル線の活性化／勝負に左右されないカープの楽しみ方／タバコのごみ／広島はもったいない／歩きスマホ／広島のCM
第113回	7月12日（金） 19:00～21:00	9名	石丸伸二さんをどう思う？／ポイ捨て／多世代コミュニティづくり／自治体のパワハラ／蓮舫さんはなぜ負けた？／意識改革
第114回	8月16日（金） 19:00～21:00	12名	平和記念式典（広島・長崎）の招待／市民の平和宣言／パリ・オリンピック／広島のお盆／暑さ対策のために何時に消灯する？／新井カープは最後までいくか
第115回	9月13日（金） 19:00～21:00	10名	＼大予想／カープ＆サン振れは今年何位になるか!？／長崎と広島の市政のちがい／アイドリングストップのアイデア／就職支援、リスキリングなど／就労支援、大学連携など／将来の不安
第116回	10月11日（金） 19:00～21:00	10名	詐欺／広島のマナーアップ／日本被団協ノーベル平和賞／これから日本は何を売ったらよいか／長年謎だったゴミが判明／カミハチキテルのビジョン
第117回	11月8日（金） 19:00～21:00	12名	ユネスコ無形文化遺産に“伝統的酒づくり”が選ばれて、どんなよいことが起こる？／広島の未来のためにほしい情報は？／ひろしまたてものがたりフェスタ2024／合本主義／トランプ大統領を広島に来させるには／マツダをどうするか
第118回	12月13日（金） 19:00～21:00	15名	サンフレッチェ2位／周防大島／変えたいこと／広島の人口流出／広島駅再開発／比治山ホール
第119回	2025年 1月10日（金） 19:00～21:00	12名	商工会議所の新年互例会／コミュニケーションを高める子育て／世代間を越えたコミュニケーション／好きな広島ゆかりのアーティスト／地域における自治会・町内会のマネジメント／戦後・被爆80年
第120回	2月14日（金） 19:00～21:00	13名	ベートーベンの悲愴で考える2025年からの世界／建物に入ったときの匂い／宇品みなとフェスタ／2025年どうなる！？／基町の商業施設、どんなまちのシンボ

			ル！？／世界にほこる広島文化
第121回	3月14日（金） 19:00～21:00	16名	自民党を応援する気持ち／意識改革による行動転換／ 今シーズンのカープ／半年後の県知事などの選挙／広島の魅力（若者）／カキ殻をどう活用するか



（２）組織力・担い手を育成する事業

NPO の組織基盤やガバナンスの強化を促進し、実践者や支援者の育成、ユースの活躍創出を図った。

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
2-1	継続	2024 年度ひろしまコミュニティ基金(ひろしま NPO サポート倶楽部)	ゆうちょ銀行の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
2-2	継続	2024 年度ひろしまコミュニティ基金(ろうきん NPO 寄付システム)	中国労働金庫の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
2-3	継続	NPO 事務局センター・NPO 事務支援カンファレンス	全国の NPO 支援センターと連携した、NPO の事務・経営支援。	年間	全国	自主財・利用料
2-4	継続	非営利組織の会計サポート	非営利組織の事務運営力の向上のために、会計や税務に関する相談対応、経理代行のサポート等を行う。	年間	県内	自主財・利用料
2-5	継続	協力・後援・連携事業の推進	各主体から依頼のある会議・行事等への参加や開催協力。	年間	全国	自主財ほか
2-6	継続	講師等の派遣	各主体から依頼のある研修会・フォーラム等への講師派遣。	年間	全国	自主財・謝礼金
2-7	継続	廿日市市市民活動相談業務	廿日市市市民活動センターの相談窓口業務の支援。	年間	県内	受託料

2-8	継続	JICA 中国開発教育支援事業	JICA 中国と連携した国際協力の担い手育成のためのプログラム企画や施設展示、広報等。	年間	中国地方	受託料
2-9	継続	インターンシップを通じたユース等の人材育成事業	大学生等を対象としたひろしま NPO センターのインターンシップの受入による人材育成。	年間	県内	自主財
2-10	継続	2024 年度 JICA 中国青年研修「防災とまちづくり」	行政官の人材育成を図るとともに、研修等を通して市民の国際理解、地域の国際化に寄与する。	12 月	中国地方	受託料
2-11	新規	2024 年度 JICA 中国青年研修「職業訓練 (TVET)」	行政官の人材育成を図るとともに、研修等を通して市民の国際理解、地域の国際化に寄与する。	2 月	中国地方	受託料
2-12	新規	2024 年度 JICA 四国青年研修「再生可能エネルギー」	行政官の人材育成を図るとともに、研修等を通して市民の国際理解、地域の国際化に寄与する。	1 月	四国地方	受託料
2-13	新規	2024 年度 JICA 日系研修「外国人散在地域におけるサポート」	広島県内 4 地域 (福山、三原、呉、広島市) において、在住外国人支援を来日研修員と実施する。	10 月 ～3 月	県内	受託料
2-14	継続	脱炭素地域づくり普及啓発事業委託業務	鳥取県北栄町の脱炭素地域づくりを推進するための普及啓発や人材育成等を支援する。	9～12 月	中国地方	委託料

▶2-1 2024 年度ひろしまコミュニティ基金（ひろしま NPO サポート倶楽部）

株式会社ゆうちょ銀行と連携した寄付募集及び NPO 法人への助成金配分を行った。

OUTPUT 助成団体：9 団体 助成総額：900,000 円

OUTCOME NPO の財政基盤整備

<助成概要>

NO	団体名	所在地	助成額
1	NPO 法人ブエンカミーノ	広島市	100,000 円
2	NPO 法人三段峡一太田川流域研究会	安芸太田町	100,000 円
3	NPO 法人らぼーる	呉市	100,000 円
4	NINA ARICA	広島市	100,000 円
5	ふくやま科学未来キッズ	福山市	100,000 円
6	NPO 法人ぐるぐる海友舎プロジェクト	呉市	100,000 円

7	Rose FIG	福山市	100,000 円
8	NPO 法人どりいむスイッチ	福山市	100,000 円
9	NPO 法人 郷野の郷運営委員会	安芸高田市	100,000 円

▶2-2 2024 年度ひろしまコミュニティ基金（ろうきん NPO 寄付システム）

中国労働金庫の NPO 寄付システムと連携した寄付募集及び NPO 法人への助成金配分を行った。

OUTPUT 助成団体：2 団体 助成総額：200,000 円

OUTCOME NPO の財政基盤整備

<助成概要>

NO	分 野	団体名	所在地	助成額
1	子どもの健全育成	NPO 法人 nicoloop	広島市	100,000 円
2	保健・医療・福祉	NPO 法人 ひろしまレクリエーション協会	広島市	100,000 円

▶2-7 廿日市市市民活動相談業務

廿日市市市民活動センターまちづくり相談業務の支援。団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活動運営等の相談対応を行った。

OUTPUT 実施概要：毎月第 2 木曜日 相談対応：10 件

OUTCOME NPO・市民活動団体の課題解決

（3）市民社会連帯を強化する事業

市民セクターのエンパワメントを高めるためのパートナーシップを形成し、立場・地域・分野・世代をつなげるコーディネーションや中間支援機能の拡充を図った。

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
3-1	継続	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局	広島県・市町・環境団体等と連携した県民参加の森づくり運動の実行委員会事務局。	年間	県内	受託料

3-2	継続	サテライトキャンパスひろしま	教育ネットワーク中国と連携したサテライトキャンパスひろしまの運営。※会議室運営は終了。	年間	広島市	自主財
3-3	継続	東日本大震災県外自主避難者等への情報支援事業	中国5県のNPO支援センターやひろしま避難者の会アスチカと連携した避難者への支援活動。	年間	中国地方	自主財
3-4	継続	中国5県中間支援組織連絡協議会	中国5県のNPO支援センターと連携した情報・ノウハウ・人材交流や、中国5県の共通課題を解決するための協働取組の展開。	年間	中国地方	自主財
3-5	継続	令和6年度中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）管理運営等業務	環境省との協働による、中国地方の環境パートナーシップ拠点・中国地方ESDセンターの運営や協働取組・ESDに関する事業の推進。	年間	中国地方	受託料
3-6	継続	SDGs推進のための事業	広島県（SDGs未来都市）や各主体と連携したSDGs推進のためのネットワーク形成や交流機会、協働取組等の実施。	年間	全国	自主財・受託料
3-7	継続	福山市まちづくりサポートセンター運営業務	多様な主体が参画し、地域課題・社会的課題の解決を行うため、福山市まちづくりサポートセンターの運営や強化を行う。	年間	福山市	受託料
3-8	継続	G7広島サミット後継プロジェクト	2023年に実施したG7広島サミットから得た経験やネットワークを活用し、グローバルな活動を継続展開する。	年間	全国	自主財
3-9	新規	第9回ボランティア交流サミットひろしま	広島県社会福祉協議会と共催して、ボランティア活動に係る団体や個人が集い交流や情報交換を行う機会を企画・運営する。	年間	県内	自主財

▶3-1 ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局

里山には、SDGsの身近な教材や資源が豊富であり、活動を通じて参加者一人一人にとってSDGsがより身近なものになる森づくり運動として、多くの県民が身近な山へ入るきっかけをつくることを目的とし、森林ボランティア、NPO、行政等が協働し、6月の第一日曜日に“ひろしま「山の日」県民の集い”

を開催する。また、そのための実行委員会事務局を運営した。

OUTPUT パートナースhip : 46 組織 参加者 : 4,366 名

OUTCOME 県民参加の森づくり運動の機運向上

<開催概要>

【日時】令和6年6月2日(日) 集いの行事(大竹市会場:6/16、安芸太田町会場:10/13)

【主催】ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社

【特別協力】ひろしまの森林づくりフォーラム

【後援】林野庁近畿中国森林管理局、広島県、広島県教育委員会、東広島市、広島市、廿日市市、呉市、三原市、福山市、三次市、大竹市、安芸太田町、世羅町、神石高原町、坂町、(公社)広島県みどり推進機構、(一社)広島県森林協会、広島県森林組合連合会、(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟、(公社)日本山岳会広島支部、(一財)全国「山の日」協議会、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島

【協賛】西条・山と水の環境機構、(株)ウッドワン、中国木材(株)、マツダ(株)、広島県森林組合連合会、光和物産(株)、(株)タカキベーカリー、神沢精工(株)、クニヒロ(株)、山陽工業(株)、しまなみ信用金庫、東広島商工会議所、広島商工会議所、福山商工会議所、尾道商工会議所、広島市漁業協同組合、(株)広島バスセンター、みずえ緑地(株)、有斐園(株)、広島県環境保健協会

【場所】<総合開会式>

東広島市会場(憩いの森公園)

<サテライト会場>

廿日市市会場(もみのき森林公園)、

広島市会場(ひろしま遊学の森・広島県緑化センター・広島市森林公園)

三原市会場(高坂自然休養村管理センター)、福山市会場(ふくやまふれ愛ランド)

三次市会場(酒屋いこいの森・ほしはら山のがっこう)

呉市会場(野呂山・野呂高原ロッジ周辺)、神石高原町会場(帝釈峡神龍湖)

世羅町会場(せら夢公園・せらワイナリー)、坂町会場(ベイサイドビーチ坂)

大竹市会場(マロンの里交流館) 6/16 開催、

安芸太田町会場(深入山グリーンシャワー) 10/13 開催

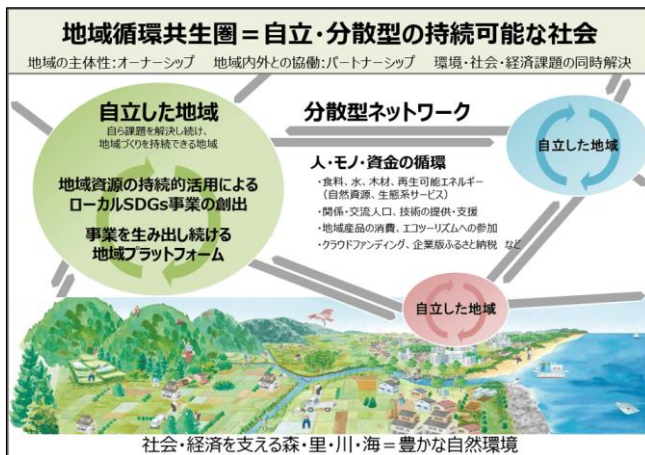
【参加者】4,366 人(うち、山の手入れ等参加者 314 人)

【内容】山の手入れ、登山道整備、登山教室、自然観察会、森のネイチャーゲーム、木工教室、森のコンサートなど、各団体・企業等の持ち込み企画で実施



▶3-5 令和 6 年度中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務

環境教育等促進法や ESD 国内実施計画で規定されている役割を踏まえて、EPO ちゅうごく及び中国地方 ESD センターの運営を行い、多様な主体による協働・連携の取組を広げることで、環境保全活動の活性化や地域循環共生圏の形成、ESD の推進を図った。



<EPO ちゅうごく>

OUTCOME

全国モデルとなる地域循環共生圏づくり支援体制の構築

NPO、企業、金融機関、自治体、ユース、マスコミ等とのパートナーシップの拡充

相談対応や行事等の共催・協力・講師の依頼件数の増加

OUTPUT

地域循環共生圏づくり支援体制構築事業の伴走支援：2 団体

(一般社団法人HLL×一般社団法人フウド(活動地域：広島県江田島市)、一般社団法人地域商社あきおおた×NPO 法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ(活動地域：広島県山県郡安芸太田町))

対話の場づくり・フォローアップ：12 回、イベント・セミナー等の参加：15 回、開

催協力：9 回

相談対応：178 件

情報発信：1,579 件(アクセス数：46,328 件)

地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進業務：



脱炭素経営スキルアップ研修会～地域脱炭素に向けた信用金庫の役割と可能性～@鳥取県米子市(12/3)



ほくえい未来トーク 2024 第4弾～省エネ・再エネランチワークショップ@鳥取県北栄町(11/23)



第12回全国省エネミーティング in ひろしま「住宅省エネ化から2050年カーボンニュートラルを目指そう～北海道、長野、鳥取の先進事例とそこで見えてきた課題

から学ぶ」@広島県広島市（11/12）

地域循環共生圏構築に向けた身近な自然資本の活用：



自然共生サイト中国地方ミーティング2024～みんなの取組を進めて、
地域の暮らしとなりわいを確かなものに～@岡山県岡山市（2/5）

<中国地方 ESD 活動支援センター>

OUTCOME

SDGs の達成や脱炭素社会の実現に向けた ESD の先駆的实践及び活動支援の展開

ESD×気候変動教育の推進

OUTPUT

ESD 学び合いフォーラムの開催：3 回、参加者：延べ 51 名

（SDGs オープンカフェ「あつうみ～あつまれ うみのなかまたち～」@島根県浜田市）



地域 ESD 活動推進拠点における事業支援（しまね海洋館アクアス）

ESD 活動の支援 対話の場づくり：3 回、イベント・セミナー等の参加：1 回、開

催協力：8 回

相談対応：57 件

情報発信：538 件（アクセス数：3,661 件）



EPO ちゅうごくホームページ

<https://epo-cg.jp/>



中国地方 ESD センターホームページ

<https://chugoku.esdcenter.jp/>



EPO ちゅうごく・中国地方 ESD センターFacebook ページ

<https://www.facebook.com/EPOchugoku>

▶3-6 SDGs 推進のための事業

一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワークの地域ユニットの幹事団体を務め、全国各地で SDGs に取り組んでいる NPO 等の情報交流やネットワーク形成、SDGs 推進のためのプロジェクト等を実施した。また、地域ユニット含む SDGs 市民社会ネットワーク全体としても、2025 年に日本政府が作成する VNR (Voluntary National Review：自発的国別報告書) に先立ち、市民社会の目線から日本国内の SDGs の

17 目標の達成度を評価するとともに、事業ユニットからの提言を取りまとめ、2025 年 2 月に「SDGs スポットライトレポート 2025」を発行した。

<地域ユニットの活動概要>

①地域ユニット定例会議

毎月第 2 木曜日にオンライン開催し、8 月には環境ユニットを招いてお互いの取組を情報交流し、9・10 月には全国 47 都道府県の繋がりづくりを目指すために会員以外も参加できるオープン Day を実施した。



②NPO の SDGs 全国調査プロジェクト

中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」の助成を受けて、2023 年度に実施した「SDGs 取り組みに関する NPO・市民活動団体の全国調査報告書」を発行するとともに、その調査結果から全国 7 地域の 27 団体に対して、市民活動団体の課題をヒアリング調査した。また、これまでの調査結果をわかりやすくまとめた動画「SDGs は誰のもの？」を制作し、2 年目の成果を共有し学び合うフォーラム「人口減少社会を超える～地域の連携で描く SDGs の未来」を 3 月に開催した。



動画「SDGs は誰のもの？」

https://www.sdgs-japan.net/single-post/sdgsurvey2024_movie

③SDGs 折り鶴プロジェクト

G7 広島サミットで実施した SDGs 折り鶴プロジェクトの継続展開として、「G7 サミットに日本の市民社会の声を届けるプロジェクト」と連携し、5 月にイタリア・ローマで開催された「C7 サミット 2024」に折り鶴を届けた。



④情報発信

地域ユニットの活動内容や成果物等について、Web サイトや SNS を通じて情報発信した。



SDGs 取り組みに関する NPO・市民活動
団体の全国調査報告書
[https://www.sdgs-japan.net/single-
post/chiiki_survey23_report](https://www.sdgs-japan.net/single-post/chiiki_survey23_report)

SDGs スポットライトレポート 2025
[https://www.sdgs-japan.net/single-
post/sdgs-spotlight-report-2025](https://www.sdgs-japan.net/single-post/sdgs-spotlight-report-2025)

▶3-7 福山市まちづくりサポートセンター運営業務

福山市から 2022～2024 年度までの 3 年間、「福山市まちづくりサポートセンター運営業務」を受託運営し、市民活動団体等の相談対応、まちづくりの土台を育む対話の場づくり「つれのうて NIGHT」、やってみたいを後押しする伴走講座「まちサポゼミ」、多様な人材・団体のネットワーク形成「つれのうて文化祭」登録団体の活動・運営支援、まちづくりや地域の課題解決のためのマッチング支援等の事業を実施した。また、3 年間の運営業務について、「まちサポアニュアルレポート 2024」を作成し、関係者に配布・報告した。



＜まちサポアニュアルレポート 2024＞ <https://fukuyama-machisapo.com/notice/annual2024/>



▶3-9 第 9 回ボランティア交流サミットひろしま

社会福祉法人広島県社会福祉協議会及び広島県内のボランティア活動に携わる関係機関(NPO、NGO、市町社協、学生)と共に、広島県内のボランティア活動の促進や担い手の育成を目的として、「第 9 回ボランティア交流サミットひろしま」を共催(隔年開催)した。

＜開催概要＞

【日 時】令和 7 年 1 月 19 日(日) 10:00～15:30

【場 所】広島県社会福祉会館(広島県広島市南区比治山本町 12-2)

- 【対 象】＊ボランティア活動・市民活動をしている人・関心がある人
＊社協・NPO・中間支援組織・行政・大学・学校・企業等でボランティア・市民活動に関わる人等
- 【参 加 者】78名
- 【内 容】○オープニングセッション「今、改めてボランティアを考える～これからの可能性を広げるために～」
○分科会 A「あなたの好きなことが誰かを笑顔に！ ～無理なく、できる範囲で始めるボランティア活動～」
○分科会 B「会って、話して、つながるボランティア ～能登半島地震での心の支援活動から考えるボランティアのあり方～」
○分科会 C「人生を豊かにする大人の第3の居場所を見つけよう！～実践者から学ぶ地域ボランティアの魅力～」
- 【主 催】ボランティア交流サミットひろしま実行委員会
社会福祉法人広島県社会福祉協議会 広島県ボランティアセンター
特定非営利活動法人ひろしま NPO センター



(4) 社会的インパクトを創出する事業

重点テーマの問題解決や価値創造を推進し、災害や新型コロナからの復興と次なる備え、環境・社会・経済が好循環する協働と仕組みづくりを図った。

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
4-1	継続	広島市公募型常設オープンスペース「つばさ（中区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（中区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財、補助金、利用料
4-2	継続	広島市公募型常設オープンスペース「いいね（南区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（南区）の	年間	広島市	自主財、補助金、利用料

			運営や親子の交流機会等の支援。			
4-4	継続	中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2021 年度通常枠	中国 5 県の NPO 支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
4-5	継続	中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2022 年度通常枠	中国 5 県の NPO 支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
4-6	新規	中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 JCIE	中国 5 県の NPO 支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
4-7	継続	災害支援活動	行政・社協・NPO 等と連携した災害復旧・復興や防災のための活動支援、関係機関との協働事業の展開。	年間	県内	自主財、寄付金

▶4-2 広島市公募型常設オープンスペース「いいね」

広島市地域子育て支援拠点事業（公募型常設オープンスペース）の補助金を活用し運営している「いいね（南区）」は 2019 年度から 5 年目を迎えた中で、2024 年度当初にイオン宇品店から改装工事に伴う契約変更（2025 年 1 月末までの契約）を求められ、工事の時期や経費等に係る交渉や調整を行ったが難航したため、年度内の運営や今後の運営体制の見直しを行った。そこで、数年後に当センターからの自立運営を目指していた計画を前倒しして、理事・プロジェクトマネージャーの香川恭子が設立した「こども子育て応援ひろしま労働者協同組合」に「いいね」を 2025 年 1 月に事業譲渡した。

▶4-4 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県休眠預金等活用事業 2021」

▶4-5 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県における発災時の相互支援体制

構築に向けた地域の支援団体育成・強化事業（中国 5 県休眠預金等活用活用事業 2022 年度発災枠）」

中国 5 県の NPO 支援センター（公益財団法人とっとり県民活動支援センター、公益財団法人ふるさと島根定住財団、特定非営利活動法人岡山 NPO



センター、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター、特定非営利活動法人やまぐち県民ネット 21) と連携したコンソーシアムにより、休眠預金等活用事業の資金分配団体を運営し、実行団体への助成金の配分及び伴走支援を行った。

<広島県内の実施概要>

2021 通常	テーマ	中山間地域を担う生業づくり
	採択団体	特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会 一般社団法人フード
2022 災害枠	テーマ	中国 5 県内での担い手の育成と市町村域における連携体制構築で大規模災害時に助け合える体制をつくる
	採択団体	一般社団法人ひろしま防災減災支援協会

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム公式ページ <https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/>